

グループ理念

私たちJR東日本グループは、駅と鉄道を中心として、お客さまと地域の皆さまのために、良質で時代の先端を行くサービスを提供することにより、東日本エリアの発展をめざします。

私たちは、「究極の安全」と「サービス品質の改革」に向けて、挑戦を続けます。また、技術革新やグローバル化の推進を通じて、幅広い視野を持つ人材の育成、鉄道の進化の実現、沿線価値の向上など、グループの無限の可能性を追求します。

私たちは、「信頼される生活サービス創造グループ」として、社会的責任の遂行とグループの持続的成長をめざします。

行動指針

1. お客さま・地域とともに

私たちは、まごころをこめたサービスを行い、お客さまと地域の皆さまのご期待を実現します

2. 安全・品質の向上

私たちは、安全で安定した輸送とサービス品質の向上をめざします

3. 無限の可能性の追求

私たちは、幅広い視野と挑戦の志を持ち、グループが持つ無限の可能性を追求します

会社概要

社名 東日本旅客鉄道株式会社
East Japan Railway Company
所在地 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号
設立 1987年4月1日
資本金 2,000億円
社員数 56,445名(2017年4月1日現在)

編集方針

「CSR報告書2017」は、JR東日本グループにおけるさまざまな取組みについて、正確かつ分かりやすく紹介するとともに、多様なステークホルダーの方とコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。この報告書では、「グループ経営構想V ～限りなき前進～」に関連した取組みや進捗状況について掲載しています。

なお、「安全」「社会」「環境」のそれぞれの側面で特に進捗のあった情報等を掲載しているため、当社グループ全体の取組みについては、当社ウェブサイトをご覧ください。

本報告書は、GRIのサステナビリティ・レポートガイドライン第4版(G4)の中核(Core)オプションに準拠しています。

また、鉄道事業法により公表を義務付けられている「安全報告書」を兼ねています。

準拠した ガイドライン

サステナビリティ・レポートガイドライン第4版(G4)
[Global Reporting Initiative]

参考にした ガイドライン

環境報告ガイドライン(2012年版)[環境省]
環境会計ガイドライン(2005年版)[環境省]

対象期間

2016年4月1日～2017年3月31日
(実績データに関しては、2016年度を対象期間としましたが、活動内容については一部それ以前のもの、および本書発行直近のものも含んでいます)

対象範囲

東日本旅客鉄道株式会社
JR東日本グループ(連結子会社(67社))
経済性報告：当社、連結子会社、持分法適用会社(5社)
環境報告：当社、連結子会社
社会性報告：当社、連結子会社
連結子会社はP134に記載しています。

公表数値

公表数値については、端数処理の関係で合計と内訳数値が一致しない場合があります。